



## 2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社  
 コード番号 1771 URL <http://www.kanryu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 幸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 大谷 友昭  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
 TEL 092-632-1050

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	4,435	50.4	271	106.4	283	94.5	195	106.9
2020年9月期第1四半期	2,948	13.4	131	26.2	145	23.9	94	27.3

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 199百万円 (20.3%) 2020年9月期第1四半期 165百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	38.82	15.93
2020年9月期第1四半期	18.77	7.70

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	13,054	7,004	53.7
2020年9月期	12,312	6,870	55.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 7,004百万円 2020年9月期 6,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		10.00	10.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	11.1	685	14.1	690	16.0	450	18.7	89.28
通期	14,650	1.7	500	44.5	520	45.4	320	49.1	60.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定であるため、2020年9月期の優先株式の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	5,102,000 株	2020年9月期	5,102,000 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	61,762 株	2020年9月期	61,762 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	5,040,238 株	2020年9月期1Q	5,040,238 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考情報)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

第1回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2021年9月期	—				
2021年9月期(予想)		0.00	—	未定	未定

(注) 2021年9月期の予想につきましては、配当年率が2021年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが見られるものの、依然として新型コロナウイルス感染症の終息見込が立たず、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループが主力事業とする建設業界におきましては、東京五輪関連事業が一段落したことに加え、建設労働者不足や建設資材価格の高止まりなど、受注環境は依然として厳しい状況で推移したものの、公共投資、民間設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおいては2020年8月にグループ会社化した株式会社ニチボーの業績が寄与したこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、44億35百万円（前年同四半期比50.4%増、14億87百万円増）、営業利益は2億71百万円（同106.4%増、1億39百万円増）、経常利益は2億83百万円（同94.5%増、1億37百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億95百万円（同106.9%増、1億1百万円増）となりました。

なお、当社グループの業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (建設事業)

建設事業における工事につきましては、新規連結子会社である株式会社ニチボーの業績が寄与したことにより、完成工事高は前年同四半期を上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましても、港湾の防風柵や鉄道関連の遮音壁などの防護柵や土砂災害を防止する土木資材が増加したことから、商品売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、建設事業の売上高は35億88百万円（前年同四半期比50.9%増、12億11百万円増）、セグメント利益は2億84百万円（同120.1%増、1億55百万円増）となりました。

#### (防災安全事業)

防災安全事業の業績につきましては、労働安全衛生法の改正に伴い保護具の販売が増加したことに加え、備蓄用の資機材や新型コロナウイルス感染症対策の資機材の販売が堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は7億26百万円（前年同四半期比61.0%増、2億75百万円増）、セグメント利益は54百万円（同152.5%増、33百万円増）となりました。

#### (化学品事業)

化学品事業につきましては、タイヤの製造過程で使用されるゴム加硫剤（不溶性硫黄）及び当社オリジナル製品である環境型自然土防草舗装材（製品名：雑草アタック）の販売は、前年同四半期並みとなりました。

以上の結果、化学品事業の売上高は1億19百万円（前年同四半期比0.5%増、0百万円増）、セグメント利益は24百万円（同2.7%増、0百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、130億54百万円（前連結会計年度末比6.0%増、7億41百万円増）となりました。

資産につきましては、流動資産が89億6百万円（同9.1%増、7億42百万円増）となりました。その主な要因は、売上債権の回収が進んだこと等により現金及び預金が6億60百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、41億48百万円（同0.0%減、0百万円減）となりました。

負債につきましては、60億50百万円（同11.2%増、6億8百万円増）となりました。その主な要因は、法人税等

の納付により未払法人税が1億93百万円減少したものの、第1四半期連結会計期間特有の傾向として仕入債務の残高が前連結会計年度末と比較して増加傾向にあることから支払手形・工事未払金等が9億87百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、70億4百万円（同1.9%増、1億33百万円増）となりました。その主な要因は、株主配当金の支払いにより利益剰余金が66百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を1億95百万円計上したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、2020年11月17日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,942,098	3,602,839
受取手形・完成工事未収入金等	4,221,509	4,149,669
電子記録債権	50,749	44,170
未成工事支出金	701,892	884,130
商品及び製品	173,708	179,820
仕掛品	12,391	12,491
原材料及び貯蔵品	9,933	9,890
その他	54,461	25,794
貸倒引当金	△2,723	△2,684
流動資産合計	8,164,021	8,906,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	612,753	604,179
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	158,405	149,125
土地	1,214,449	1,214,449
その他（純額）	7,013	106,692
有形固定資産合計	1,992,621	2,074,447
無形固定資産		
のれん	940,964	914,826
顧客関連資産	417,189	392,374
その他	13,873	13,515
無形固定資産合計	1,372,026	1,320,716
投資その他の資産		
投資有価証券	698,517	700,155
差入保証金	14,944	16,139
その他	96,585	63,793
貸倒引当金	△26,383	△27,044
投資その他の資産合計	783,664	753,044
固定資産合計	4,148,312	4,148,207
資産合計	12,312,333	13,054,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,161,172	4,148,830
1年内返済予定の長期借入金	115,200	115,200
未払法人税等	239,594	46,515
未成工事受入金	387,010	434,613
賞与引当金	198,724	66,041
役員賞与引当金	17,333	—
株主優待引当金	4,580	—
その他	403,351	322,883
流動負債合計	4,526,965	5,134,083
固定負債		
長期借入金	675,200	646,400
退職給付に係る負債	108,120	110,447
その他	131,307	159,365
固定負債合計	914,628	916,212
負債合計	5,441,593	6,050,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	698,570	698,570
利益剰余金	5,470,383	5,599,653
自己株式	△10,009	△10,009
株主資本合計	6,572,619	6,701,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,564	318,886
退職給付に係る調整累計額	△18,443	△16,742
その他の包括利益累計額合計	298,120	302,144
純資産合計	6,870,739	7,004,033
負債純資産合計	12,312,333	13,054,329

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,948,294	4,435,410
売上原価	2,378,792	3,544,010
売上総利益	569,501	891,400
販売費及び一般管理費	438,073	620,155
営業利益	131,427	271,245
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,049	4,504
受取賃貸料	2,638	3,554
受取手数料	2,635	2,550
その他	3,645	4,275
営業外収益合計	14,968	14,884
営業外費用		
支払利息	—	1,959
支払手数料	13	293
リース解約損	379	—
その他	29	25
営業外費用合計	421	2,278
経常利益	145,974	283,850
特別利益		
投資有価証券売却益	—	14,484
特別利益合計	—	14,484
特別損失		
固定資産除却損	113	—
特別損失合計	113	—
税金等調整前四半期純利益	145,860	298,335
法人税、住民税及び事業税	6,156	40,217
法人税等調整額	45,120	62,445
法人税等合計	51,277	102,662
四半期純利益	94,583	195,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,583	195,672

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	94,583	195,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,402	2,321
退職給付に係る調整額	997	1,701
その他の包括利益合計	71,399	4,023
四半期包括利益	165,983	199,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,983	199,695
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,377,905	451,378	119,010	2,948,294	—	2,948,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	43	—	43	△43	—
計	2,377,905	451,421	119,010	2,948,337	△43	2,948,294
セグメント利益	129,209	21,715	24,051	174,977	△43,549	131,427

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,549千円は、報告セグメントに配分していない全社費用43,549千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,588,907	726,937	119,566	4,435,410	—	4,435,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	33	—	33	△33	—
計	3,588,907	726,970	119,566	4,435,444	△33	4,435,410
セグメント利益	284,426	54,840	24,712	363,979	△92,734	271,245

(注) 1. セグメント利益の調整額△92,734千円は、報告セグメントに配分していない全社費用92,734千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。